

報道関係各位

2017年5月8日

## 2017年3月期 決算（IFRS）過去最高益を達成 全セグメントで増益、当期利益がV字回復

株式会社 LIXIL グループ（本社：東京都千代田区、社長：瀬戸欣哉、以下 LIXIL グループ）は本日、2017年3月期通期の決算<sup>※1</sup>を発表しました。売上高は、前年度に実施した事業売却や、LIXIL Building Technology（LBT）で継続的に進めている選別受注などの影響を受け、前年比 6%減の 1 兆 7,864 億円となりました。事業利益は、グループ内のシナジー創出と収益力向上施策により、前年比 26%増の 883 億円と、増益となりました。

当期利益<sup>※2</sup>は一過性損失の減少により、前年度から 681 億円改善し、425 億円と黒字化を達成しました。自己資本利益率（ROE）は、前年比 12.5 ポイント改善し、7.9%となりました。なお、配当については、前年度と変わらず、期末配当 30 円とし、通期の合計は 60 円となります。

2017年3月期の売上高は、昨年10月に発表した業績予想とほぼ同じとなったものの、事業利益は LIXIL Water Technology（LWT）の順調な成長に加え、国内事業におけるコスト低減、全社的な販売管理費の抑制によって、業績予想を 83 億円上回る超過達成となりました。また、2018年3月期の業績予想は、海外市場を中心にさらなる成長と国内事業の収益性改善を見込んでおり、売上高は 4%増の 1 兆 8,500 億円、事業利益は 8%増の 950 億円と増収増益を予想しています。

※1 国際会計基準（IFRS）に基づく。

※2 親会社の所有者に帰属する当期利益。

### LIXIL グループ社長兼 CEO 瀬戸欣哉のコメント

「LIXIL グループは、事業効率の改善とグループ全体のシナジー最大化を目指してきましたが、こうした戦略の進展が収益力の強化につながっています。今後は、新たな施策導入やマーケティングチャネルの活用を通じて、顧客との距離を縮め、関係を深化させることに注力していきます。現在、新中期経営計画の策定を進めており、今期中に発表する予定です」

### 部門別の業績および重点施策

**LIXIL Water Technology（LWT）** は LIXIL、INAX、GROHE、American Standard などのグローバルブランドを展開しており、2017年3月期の売上高は、前期比 2%減の 6,624 億円となりましたが、現地通貨ベースでは 4%の増収となりました。事業利益は、19%増の 651 億円へと拡大し、事業利益率は 10%と前期比 2 ポイント上昇しました。新商品の投入効果もあり、国内外で成長が続いており、地域別売上を見ると、北米地域は前期比 7%増、欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域では 5%増、アジア太平洋地域では 8%増、日本では 1%増と全地域で好調な伸びを見せました。2018年3月期は、さらなる成長を見込んでおり、売上高は前期比 6%増の 7,030 億円、事業利益は同 3%増の 670 億円、事業利益率は同水準の 10%を予想しています。プラットフォーム戦略の推進、グローバルなサプライチェーンの効率化、世界市場におけるシャワートイレの拡販といった施策を通じて、シナジーの最大化を図ります。

**LIXIL Housing Technology（LHT）** の 2017年3月期売上高は、上期に実施したハイビック株式会社の売却などの影響を受け、前期比 4%減の 5,441 億円となったものの、コスト低減等により、事業利益は 3%増の 392 億円、事業利益率は 7%となりました。2018年3月期は、売上高は 1%減の 5,370 億円、事業利益は 6%増の 415 億円、事業利益率は 8%となる見通しです。LHT では、省施工・短工期のリフォーム向け新商品の開発やマーケティング活動の強化、市場の変化に迅速に対応できる体制構築に注力します。

**LIXIL Building Technology (LBT)** は Permasteelisa Group を含んでおり、売上高は、前年の上海美特幕墙有限公司の売却等の影響により、前年比 21%減の 2,636 億円となったものの、選別受注の徹底が奏功し、事業利益は 38 億円と黒字を確保しました。2018 年 3 月期は、売上高は前期比 6%増の 2,790 億円、事業利益は 69%増の 65 億円と増収増益を予想しています。高い収益性が見込まれる市場への注力と、厳格なプロジェクト運営を通じて、さらなる成長を目指します。

**LIXIL Kitchen Technology (LKT)** の売上高は、前期比 2%増の 1,147 億円となり、事業利益は 147%増の 43 億円に拡大、事業利益率も前年比 2 ポイント以上改善して 4%となりました。これは、高価格帯のシステムキッチン「リシェル」シリーズの売上増加と、生産コストの低減によるものです。2018 年 3 月期については、売上高は同水準の 1,150 億円、事業利益は 16%増の 50 億円を予想しています。中高級品の強化を通じた収益力向上によって、事業利益の増加を見込んでいます。

**流通・小売り事業**の売上高は、前年の一部事業売却の影響で、前期比 7%減の 1,720 億円、事業利益は 2%増の 73 億円となり、事業利益率は 4%でした。ホームセンター事業を展開する株式会社 LIXIL ビバが、積極的な店舗展開によってさらなる成長を図るため、2017 年 4 月 12 日に東京証券取引所市場第一部に上場しました。流通・小売り事業の 2018 年 3 月期の売上高は、6%増の 1,830 億円、事業利益は 23%増の 90 億円、事業利益率は 5%を見込んでいます。**住宅・サービス事業等**は、売上高が 8%増の 644 億円、事業利益は 17%増の 44 億円となり、事業利益率は 7%でした。2018 年 3 月期については、株式会社日本住宅保証検査機構(JIO)の非連結化の影響を受け、売上高は 11%減の 570 億円、事業利益は 21%減の 35 億円となる見込みです。

なお、LIXIL グループは、6 月開催予定の定時株主総会後の取締役会に提案する執行役候補者を決定し、本日発表しました。詳しくは、LIXIL グループホームページの最新ニュース (<http://www.lixil.com/jp/news/>) をご覧ください。

## ■ LIXIL、LIXIL グループについて

### LIXIL について

株式会社 LIXIL は、戸建住宅・マンションからオフィス・商業施設などの非住宅向けに、多岐にわたる建材・設備機器および幅広い住関連サービスを提供するグローバル企業です。2011 年に国内の主要な建材・設備機器メーカー 5 社が統合して誕生しました。以後、American Standard Brands、GROHE、Permasteelisa Group といった海外企業の統合により、世界的ブランドを傘下に収め、現在、LIXIL Water Technology、LIXIL Housing Technology、LIXIL Building Technology、LIXIL Kitchen Technology の 4 つのテクノロジー事業に加え、日本における営業活動を担う LIXIL ジャパンカンパニーを軸に幅広く事業を推進しています。

### LIXIL グループについて

株式会社 LIXIL グループ (証券コード: 5938) は、中核事業会社である株式会社 LIXIL をはじめ、株式会社 LIXIL ビバ、株式会社 LIXIL 住宅研究所などを傘下に持つ持株会社で、東京証券取引所および名古屋証券取引所に上場しています。多岐にわたる建材・設備機器の製造、販売に加え、ホームセンター事業や住宅フランチャイズチェーンの運営、不動産サービスなど、幅広い住関連サービスを展開しています。2017 年 3 月期の連結売上高は 1 兆 7,864 億円<sup>※</sup>です。

※国際会計基準 (IFRS) ベース